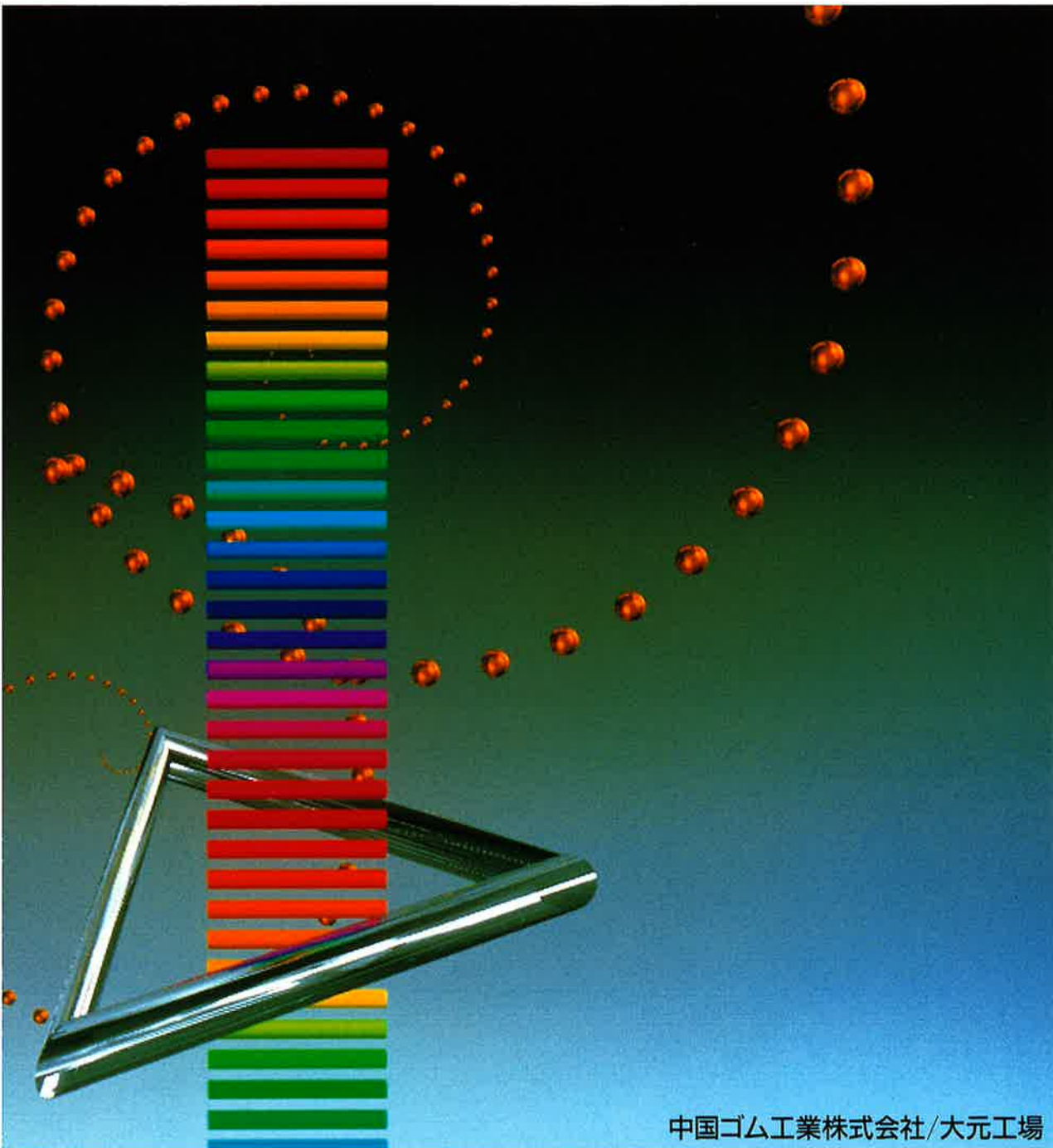


# ハイポール

HIGH PERFORMANCE RUBBER



中国ゴム工業株式会社/大元工場

私なら、  
きつとお役に立てると  
思います。



ハイポールは  
当社独自の技術から生まれた  
耐摩耗性特殊合成ゴムです。

# ハイポール

HIGH PERFORMANCE RUBBER

—— 素材特許3件取得 ——

耐摩耗性が要求される分野ではウレタンゴムがよく使われています。しかしウレタンゴムは耐熱性、耐水性が悪く、軟化劣化や高温での金属との接着力低下、高速回転での発熱溶融を起こす欠点をもっています。

ハイポールは明色配合でウレタンと同程度の耐摩耗性をもち、しかも耐熱、耐水、耐油性や金属との接着力の維持に優れています。特に耐エッジ摩耗性はウレタンより優れ、高速回転での溶融がないなど、苛酷な条件下にて威力を発揮する新しい合成ゴムです。

ただし、耐候性、機械的強度はウレタンのほうが優れていますので、屋外使用や、バッファーなどの高荷重の条件での使用は検討が必要です。

# ハイポール



## ハイポール使用実績

### 鉄鋼・金属・機械関係

- 鉱石ふるい用スクリーン
- サイドトリマーリング
- スカート
- ブラスト用ライニング
- 高サイクル変形用バッファー
- 摺動用パッキン

### 建設・輸送関係

- ベルトクリーナ
- 無段変速用摩擦車
- ブレーキ材
- クランプ材
- ワイパー
- 建材送りローラ

### 食品・繊維・製紙関係

- カッター用受けロール
- 紙押しえロール
- ドクターブレード
- スクレーパー
- 魚肉ミンチ用ベルト
- 高速回転送りローラ
- 給紙ローラ

### 電機・精密・OA機器関係

- CD用紙送りローラ
- 給紙用キッカー
- ローララベル
- ローラヘッド
- ドライビングプーリ
- プラテンローラ

上記実績はほんの一例ですが、ハイポールは、耐摩耗性(特にエッジ摩耗)が要求され、ウレタンでは使用条件が問題になる分野において好評を得ています。

また、ハイポールは、合成ゴムでは画期的な、自由でカラフルな色調が可能のためインテリア関係をはじめ、使用範囲は広がっています。

# HIGH PERFORMANCE RUBBER

## ハイポールの物性

グレード 特 徴	HL80 低発熱	HM80 汎 用	HT80 耐 熱	試験方法
常態物性				
硬 度 (JIS)	80	80	80	JIS K-6253
引張強度 (MPa)	20	25	25	JIS K-6251
伸 び 率 (%)	200	400	400	〃
引裂強度 (kN/m)	50	60	60	JIS K-6252
耐摩耗性				
テーバー摩耗減量 (mg/1000回)	70	60	80	テーバー式摩耗試験機 摩耗輪H-22 荷重 1kg
アクロン摩耗減量 (mg/1000回)	55 210	50 180	70 250	アクロン摩耗試験機 荷重10lb、角度15° 荷重10lb、角度25°
ピコ摩耗減量 ( $\times 10^{-3}$ cc.)	7	10	20	ピコ摩耗試験機 ASTM D2228
発熱性				
$\tan \delta$	0.10	0.15	0.12	20Hz
耐熱老化性				
硬度変化 (Hs)	+ 6	+ 5	+ 2	HL 80 100°C×70hrs
引張強度変化率 (%)	$\pm 0$	- 11	- 5	HM80 100°C×70hrs
伸び変化率 (%)	- 23	- 25	- 10	HT 80 120°C×70hrs
耐薬品性 (塩酸10%)				70°C×7days
硬度変化 (Hs)	+ 1	+ 1	- 1	
重量変化率 (%)	+ 5	+ 5	+ 12	
耐水性 (熱水)				70°C×7days
硬度変化 (Hs)	- 1	- 1	- 1	
重量変化率 (%)	+ 4	+ 4	+ 6	
用 途	高サイクルの変形 により発熱をとも なうゴム製品  耐エッジ摩耗が要 求されるゴム製品	耐摩耗性が要求さ れる汎用のゴム製 品	耐摩耗性が要求さ れ、しかも、雰囲気 温度が120°C 前後 での高温の所に使 用されるゴム製品	

# それでは、3つの項目別に ハイポールの優秀性をご紹介。

## ★耐摩耗性



テーバー摩耗試験 (mg/1000回)



アクリロン摩耗減量 (mg/1000回)



ピコ摩耗試験 ( $\times 10^{-3}$ cc)

## ★耐熱性



硬度変化 (Hs)



伸び変化率 (%)

## ★耐水性



硬度変化 (Hs)



## 中国ゴム工業株式会社/大元工場

〒700-0921 岡山市東古松3丁目2-20

TEL(086)226-2356 (代) FAX(086)233-1148

E-mail ▶ [info@c-rubber.co.jp](mailto:info@c-rubber.co.jp) URL ▶ <http://www.c-rubber.co.jp>



●ハイボールについてのお問合せは